



進路だより

令和4年度 第4号
令和4年 6月15日
島根県立大東高等学校
進路指導部 発行

進路ガイダンスを実施しました(6/8(水))

今回の進路ガイダンスでは、県内外の大学・短大・専門学校 54 校、県内の企業 6 社が本校に来校され、ブース形式で説明をしていただきました。公務員ブースを1つ加えて、合計 61 のブースのうち3つのブースで説明を聞きました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度2月の進路ガイダンスが中止になってしまいましたので、今回の対面によるガイダンスは生徒の皆さんにとって、進路を考える上で貴重な機会になったと思います。

今回の進路だより第4号では、参加した生徒の皆さんの感想をいくつかご紹介します。

■4年制大学・短大

【島根大学】

へるん入試について少しは知ることができました。自分自身を見つめなおして、学びのタネを見つけていきたいです。

【島根大学】

自分自身の個性や努力を評価してくれる入試方法に魅力を感じた。

【広島国際大学】

チーム医療を大事にする学校ということがわかりました。

【広島経済大学】

「1人1人を見捨てない」という言葉が心に残りました。

■専門学校

【出雲医療看護専門学校】

患者さんに対しての向き合い方が少しだけ分かった気がします。

【島根リハビリテーション学院】

全国で2800くらいの専門学校があるうちの19の優れている学校だと聞いてますます興味がわきました。

【広島会計学院ビジネス専門学校】

簿記や税のことなど難しそうではあったけど、熱血の教師さんもいて、学べる要素が沢山あると分かりました。

【トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校】

社会福祉と介護福祉の違いについて知ることが出来たので良かったです。学ぶ内容についてよくわかりました。

■就職

【ホシザキ株式会社島根工場】

世界 No.1 のシェア率を誇っていて、世界でも1番をとっている会社だと聞いて、前よりも興味がわきました。

【ホシザキ株式会社島根工場】

ただ良い製品を作るだけではなく、ライフワークバランスなどもしっかり考えておられることが分かりました。

【出雲村田製作所】

とてもかたい仕事だと思っていたけど、とても会社の雰囲気が良かったです。

【株式会社 TANABE グローバルキッチン】

仕事の内容だけでなく、必要な力なども分かって良かったです。



1, 2年生は、10月25日(火)に進路見学会があります。そこでは、希望する島根県東部の大学・短大・専門学校や企業にバスで行って、説明を聞いたり、見学や体験をさせていただいたりする機会を設けます。今回説明を聞いた島根県東部の学校や企業に実際に行って見学や体験をしたり、別の学校や企業の見学や体験をしたりして情報を収集し、進路目標を決める機会としてほしいと思います。

教育実習生から生徒の皆さんへのメッセージ

今年度は4名の卒業生が教育実習に来ています。教育実習生の皆さんに、現役の大東高校生に向けてのメッセージをいただきました。是非参考にしてください。

杉原 冬郁 さん 地歴・公民科（日本史） （広島経済大学 経済学部）

皆さんこんにちは。教育実習生としてこの大東高校でお世話になります、杉原冬郁と申します。今回、皆さんには自分が感じた高校生活、大学生活でやっておいた方がよいことについてお話させていただければと思います。突然ですが、「社会人に求められる能力」と問われてどのようなことが思い浮かびますか？コミュニケーション能力、英語を話す力、企画力など挙げればきりがありませんが、どれも正解です。ここでは、「社会人基礎力」と定義させていただきます。この社会人基礎力とは「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な能力」として経済産業省が提唱したものです。私は、皆さんにチャレンジをして、この能力を養ってほしいと思います。私は、中学生まで全く人前でお話をする事ができるようなタイプではありませんでした。何より緊張しますし、こんな自分の話すことなど誰が聞いてくれるかわからなかったからです。ですが高校生の時、部活動の存続が危うくなり、活動を続けるために当時の校長先生、教頭先生、保護者の方々と方向性について会議の場を設けさせていただきました。この出来事で私の「できる事」の中に「人前でお話して、人を巻き込むこと」が追加されました。これは「社会人基礎力」の中の「主体性、実行力、働きかけ力」になります。これから、皆さんは自分の手で人生を切り拓いていくことになります。皆さんそれぞれ学校生活で忙しいと思います。ですが、大東高校では皆さんのチャレンジをサポートする環境が整っていると感じます。きっかけとなるものは人それぞれ違いますが、ほんの少しの一步がぐんと皆さんの可能性を広げてくれるでしょう。皆さんの成功を願っています。

西 康汰 さん 数学科 （九州大学 理学部）

進学を考えている皆さんの参考になればと思い、私なりに受験を見据えた勉強について書いてみたいと思います。

1, 2年生の皆さんがやるべきことは、各教科で自分に合った学習方法や学習環境を見つけることだと思います。例えば、日本史なら教科書に書き込みをして読み込む方法、内容をノートにまとめる方法、単語カードを作る方法などいくつか学習方法が考えられます。自分に合ったものを見つけておくことのメリットは、受験に対する不安が少なくなることだと思います。私の経験ですが、いざ受験勉強を始めようと思ったとき、何をどうやって勉強すれば良いかわかりませんでした。特にどうやって勉強するかは、なかなか定まらず不安だったことを覚えています。それゆえに、皆さんには3年生になる前に自分に合った学習方法、学習環境を見つけるだけでも自信を持って受験勉強ができるようにしてほしいと思っています。

3年生の皆さんがやるべきことは、苦手な教科に時間をかけることだと思います。「その前の当たり前のことでしょ」と皆さん思われているかもしれませんが、これが思っているより大変なのです。そこで、私がどのようにして苦手な教科の勉強時間を確保していたか紹介したいと思います。私は「毎日21時から22時は英語をする」というように、苦手な教科を勉強する時間を固定していました。最初の方はきついですが、そのうち慣れてきて習慣化することができます。やりたくないという気持ちによって、先送りにすることが防げるので苦手な教科の勉強時間を確保しやすいかと思います。これはあくまで一例なので、皆さん自分に合ったものを探してみてください。

少しでも参考になった方がいたらありがたいです。受験勉強頑張ってください。

小林 千尋 さん 数学科 （島根大学 総合理工学部）

皆さんこんにちは。教育実習生として大東高校でお世話になりました、小林千尋です。今回は大東高校の皆さんに高校での進路変化と、大学進学して良かったことをお伝えしたいと思います。

私は高校入学時から専門学校に進学したいと思っていました。6月8日の進路ガイダンスのような多くの専門学校が集まっている説明会に参加したり、オープンキャンパスにも行ったりして進学したい学校もだいたい決めていました。しかし、1年生の文理選択の際に、担任の先生との面談や他の先生にも相談にのっていただきながら、数学が好きだったことと、専門学校や大学進学など多くの選択肢を残すことを考え、理系を選択しました。この選択のおかげで今、数学の教員を目指し勉強することができています。自分のその時に好きなこと、やりたいことしか見えていなかった1年生でしたが、先生からのお話で将来のことを広い視野で考えることができました。好きなことややりたいことから将来を考えることも大切ですが、広い視野を持ちいろいろなことに目を向けることも大切なと思います。

大学に進学して良かったと感じたことは、自分がやりたいと思ったことに挑戦できることです。挑戦できる環境だなと感じたことで一步踏み出す行動力も身についたと思います。コロナ禍で大学に行き授業を受けることができなかった時には、地元で何かしたいと思い、地域活性化に関わる企画作りに参加させていただきました。大学でも地域でも様々な方と関わることができましたし、やりたいを形にすることもできました。このような経験を社会に出る前にできたのは大学に進学したからだなと感じています。

皆さんが自分のやりたいことができる、また楽しめる将来であればいいなと思います。頑張ってください！応援しています！

藤井 聖弥 さん 理科（化学） （島根大学 総合理工学部）

島根大学総合理工学部4年の藤井聖弥です。理科（化学）の教師になるため、教育実習を行っています。私からは、大学生活と進路の2つについてお話します。

大学生活について、私は大学で化学を勉強しています。1～3年生までは座学で新しい内容や高校よりも詳しい内容について勉強します。高校ではあまりできない基礎的な実験も行い、実験操作を覚えていきます。4年生からは研究室に所属し、研究を行います。現在、研究室に所属しているのですが、高校で習った知識が非常に役立っています。

大学生になると自分で考えて行動するので「主体性」が大事になります。高校までなら大事なことは先生が連絡してくれます。しかし、大学になると自分で確認して必要な行動をしなければいけません。また、大学生は自由な時間が多く、勉強、アルバイト、趣味などいろいろなことができます。そのため、充実した大学生活を送れるかどうかは自分次第です。大学生活では様々な経験が出来るので、とても楽しいと思います。

進路について、私は大学に行こうとは決めていましたが、将来やりたいことが明確に決まっておらず、何を学びたいかで決めていました。進路は将来の夢を実現するために決めるものだと思います。例えば「化学の教師になりたい」のであれば、高校化学の教員免許が取得できる大学に行く必要があります。このように将来やりたいことが決まっていれば、進路は定まっていきます。将来について考える機会は自分で行動しないとなかなか訪れません。私はこの部分が全然できていなかったです。なので、いろいろと調べてみてください。体験や見学をする機会があれば参加してみると職業や学問を知ることができ、適性があるかどうか分かるのでいいと思います。

高校での進路決定はのちの将来に大きく影響します。悔いが残らないよう妥協をせず頑張ってください。